

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
教育研究評議会（第89回）
議 事 要 旨

1. 日 時 令和8年3月26日（木）11：00～14：05
2. 場 所 自然科学研究機構事務局会議室・オンライン会議
3. 出席者 川合議長、伊藤評議員、井上評議員、魚崎評議員、小谷評議員、高橋評議員、永田評議員、永原評議員、早坂評議員、福田評議員、上野評議員、古屋評議員、岡本評議員、高柳評議員、土居評議員、山田評議員、三浦評議員、伊佐評議員、渡辺評議員、吉田評議員、藤堂評議員、北城評議員、山本評議員
（陪席者）
小川監事、植草監事、生駒アストロバイオロジーセンター長、根本生命創成探究センター長
（事務担当者）
事務局 勝又総務課長、後藤人事労務課長、福市財務課長、石橋研究協力課長、宮内施設・資産マネジメント室長
国立天文台 玉井事務部長、核融合科学研究所 飯野管理部長、岡崎統合事務センター 成瀬事務センター長 他
4. 配付資料
教育研究評議会評議員名簿
1 教育研究評議会（第88回）議事要旨（案）
2-1 名誉教授称号授与候補者名簿
2-2 名誉教授称号授与規程
2-3 名誉教授関係資料
3 経営協議会外部委員（案）
4 自然科学研究機構理事名簿
5 自然科学研究機構外部評価報告書
6 研究発表資料
7 令和8年度経営協議会及び教育研究評議会開催日程

5. 議事等

議事に先立ち、事務局から定足数に達している旨の報告があった。

1) 議事要旨の確認について

前回教育研究評議会（第88回）の議事要旨（案）（資料1）を承認した。

《審議事項》

2) 名誉教授の称号授与について

事務局から、資料2-2に基づき、機構の名誉教授の称号授与に関する関係規程の説明があった後、授与候補者の所属する機関の長等から、資料2-1及び資料2-3に基づき、名誉教授推薦理由について説明があり、審議の結果、案（資料2-1）のとおり了承した。

3) 経営協議会外部委員について

事務局から、資料3に基づき、経営協議会外部委員について説明があり、審議の結果、案（資料3）のとおり了承した

《報告事項》

4) 理事の任命について

川合議長から、資料4に基づき、理事の任命について報告があった。

5) 自然科学研究機構外部評価について

上野評議員から、資料5に基づき、自然科学研究機構外部評価について、報告があった。

（意見交換の内容は以下のとおり）

（○は各評議員等からの質問・意見、➡は各評議員等からの質問に対する回答）

- 提言にある「AI for Science」の理念とは具体的に何なのか。
- ➡ 大規模データに対し、AIを活用して研究を効率化し、人間では理解できない複雑な原理を読み解くという考え方と理解している。
- AI活用でサイエンスや人間育成が根本的に変わると思う。予測不可能なことが多いため、先見の明を持って注意深く進めてほしい。

- ➡ 重要なご指摘、ありがたく頂戴する。どこまで信用して使うかなど、留意して進めたいと考えている。
- 報告書を拝見すると、「機構長の裁量」に寄せられる期待が多数想定されているようにお見受けするが、機構長ご自身として、各委員から示された期待は本報告書に十分に反映されているとの理解でよろしいか。
- ➡ 外部評価委員とはかなり深く意見交換をさせていただき、その結果を踏まえて報告書が作成されたと理解している。
- 「地域大学への展開」について、国際的に活動する機構がなぜ地域連携を強める必要があるか。
- ➡ 国立大学法人等の機能強化に向けた検討会の改革の方針に地域社会を先導する人材の育成があり、地方大学と連携して技術者を育成することで、間接的に地域に貢献しようという意図があったためこのような記載となっている。文章が分かりにくかった点は整理させていただく。

《その他》

6) 機構の最近の研究について

本機構の最近の研究成果について、分子科学研究所の岡本 裕巳教授から、資料6に基づき、「キラル光学効果と顕微イメージング」と題して発表が行われ、意見交換を行った。

7) 令和8年度会議開催日程について

事務局から、資料7に基づき、令和8年度の会議開催日程について報告があった。

8) 退任評議員からの挨拶

11期の終わりにあたり、評議員を退任する井上評議員、永原評議員、岡本評議員から退任の挨拶があった。

以上